



Rotary International
 ROTARY SHARES
 ローターは分かちあいの心
 2007～2008 年度
 国際ロータリーテーマ:ウィルフリッド J.ウィルキンソン会長



東京赤坂ロータリークラブ

No.995 / 2008.4.25

例会 / 毎週金曜日12:30
 例会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
 Tel 03-3505-1111
 事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8
 赤坂2丁目アネックス3F
 Tel 03-3505-5976
 Fax 03-3505-6004
 akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp
 http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「広げよう友の輪、分かちあおう喜びを！」

2007～2008年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 小原健会長

●本日の例会 / 2008年4月25日 第1019回例会

夜間例会: 18:30 ~ 19:30

◎卓話: イニシエーションスピーチ

『私のセールストーク』

長谷川 弘志 君

(株式会社長谷川商店 代表取締役社長)

— ●先週報告 / 2008年4月18日第1018回例会 —

第5回クラブ協議会

テーマ『新会員の迎え方 そのフォローについて』

社会奉仕委員会: (西澤 (民) 委員長)

風の子会主催の「第15回障害者は外に出よう」のお知らせ。皆様奮ってご参加下さい。

第15回 障害者は外に出よう

『港区歩いて川柳を!』参加者募集!

日 時: 5月25日(日) 9時頃～4時30分頃

雨天延期の場合は 6月1日(日)

場 所: 港区周辺

参加費: 500円

慶事披露:

誕生日祝 / 椎名康允君
 (4月18日)



出席報告:

会員56名 / 出席27名・欠席29名(出席規定免除者6名)

ビクター / 成吉徳(東京銀座RC) 計1名(敬称略)

2008年4月定例理事会議事録

日 時 2008年4月4日(金) 例会後 13:40 ~ 15:00

場 所 ANAインターコンチネンタルホテル東京 1F あかつき

出席者 四分一、松永、福島、清水、村山、尾上、椎名、西澤
 (民)、小原、岩上 (敬称略、順不同)

1. 地区ゴルフ大会決勝(5月14日)の費用9万円をクラブより出費することを承認。なお、本大会メンバーは、吉岡会員、田村(昭)会員、竹本会員、尾上会員、鶴間会員、岩上会員に決定。
2. 東京赤坂 RC 細則第11条に則り馬場会員出席免除について承認。
3. 第5回クラブ協議会のテーマ「新会員の迎え方 そのフォローについて」とし、司会進行は吉岡会員増強副委員長とすることを承認。
4. 次年度2008-2009年度の理事会には、理事役員に加えて、R財団委員長(松永会員)、広報委員長(高須会員)の2名が参加することを承認。



4月18日

13件 28,000円 / 本年度累計1,046,400円
 多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

小原健 / 旅行会、夫婦で楽しませていただきました。田村さん、カードありがとうございます。そして、おめでとうございます。清水さん、村山さん、写真ありがとうございます。村山公士 / 親睦旅行、地区協議会では皆様お世話になりました。柴本さん、清水さん写真ありがとうございます。岩上義明 / 先週の親睦旅行お疲れさまでした。椎名さん、清水さん幹事役、ご苦勞様でした。又皆さんからの写真ありがとうございます。荒木昭文 / 田村昭二会員のホールインワンをお祝いして。柴本芳郎 / 田村さんホールインワンおめでとうございます。クラブツアーの写真、皆様から頂き、ありがとうございます。吉田用親 / 飯島さん、ニコニコご苦勞様です。平田和夫 / 本日のクラブ協議会初参加です。よろしく願います。椎名康允 / 親睦旅行楽しくいってきました。誕生日祝有難う御座います。小林博茂 / 4/12.13の旅行、椎名委員長はじめ皆様大変お世話になりました。西澤民夫 / 大雨ですね。飯島さんご苦勞さまでした。旅行の写真をありがとうございます。福島賢哉 / 田村さん、ホールインワン素晴らしい!おめでとうございます。飯島さんニコニコご苦勞様です。橋本年男 / 飯島さんニコニコご苦勞様です。田村さんホールインワンおめでとう御座います。私は3年前にホールインワンをしました。残念ながらロータリー会員になるチョット前でした。飯島規之 / 田村さん、ホールインワンおめでとう御座います。皆様ニコニコありがとうございます。椎名さんお誕生日おめでとうございます。

●次回予告 / 2008年5月9日 第1020回例会

◎卓話予定:

ベテラン会員によるイニシエーションスピーチ

テーマ『4度(よんたび)あの世へ』

柴本 芳郎 会員

※次週 5月2日(金) は休会となります。

第5回クラブ協議会

4月18日(金)に第5回クラブ協議会が吉岡会員増強副委員長の司会で開催されました。テーマは「新会員の迎え方 そのフォローについて」というもので、武下会員、吉田会員、荒木会員の説明の後、新会員の意見を伺った。その後、自由討論に移ったが、参加者がそれぞれ活発な発言をされ、充実した協議会でありました。

発言要旨は以下の通り。

武下会員・・例会の出席が悪いという人がいるが、「私なんていなくても」と他人事でないように、小さな委員会を作っても、引っ張り出すようにすると、自覚が生まれる。ゆーもあ会も勉強会をかねてやって、その成果を例会で発表というのでもいいだろう。

吉田会員・・時間、費用が取られる中で、ロータリアンとして継続していく意義をきちっと考える必要があろう。

ビジネス的観点・・①社会的ステータス、②異業種交流の場、③職業倫理観養成の場、④卓話でいろいろ勉強、⑤ロータリー活動での各種の勉強

人間性的観点・・①新しい友人、知己を得る、②ものの考え方、とらえ方、生き方を先輩のロータリアンから吸収する。例えば、田辺さんは「それでいいのかな。そうかな?」といつも言われていた。佐藤さんは「大体時間がたつと解決する。道は自然にできる。」などと言われていたが、まさにその通りだと思う。③奉仕の大切さ、喜びを体験できる。

人間性の部分は時間がたたないとなかなか理解ができないが、理解ができると一生の付き合いとなる。

(ここで吉岡さんが「私の場合も2年を越えたらスムーズに溶け込めた。」と発言)

荒木会員・・個人の体験から3つの点について述べられた。メーキャップのやり方については、先輩が実際に他RCに連れて行ってきて、教えてくれた。これによって、いろいろなクラブのやり方が理解できた。初歩的なことから、紹介者は手取り足取り教えることが、必要だと思う。

クラブに溶け込む機会は、火曜会、旅行会、ゆーもあ会に積極的に参加してもらえるように、他の会員が声をかけることが必要である。例会だけだと溶け込むのに時間が掛かる。ゆーもあ会などは独立委員会を作ってもいいくらいだと思う。ロータリー活動の原点は委員会活動の積み上げといえる。社会奉仕活動に参加後の達成感、満足感は参加したものにはしか分らない。風の子会、チャリティーコンサートなどの後、皆でビールを飲みながら、爽やかな満足感、まさにロータリーに入ってよかったな!ということである。ロータリー活動は難しくもなんとも無い。

その後、新入会員の発言となり、金澤会員の「私は自由に考え、常に新しいものを作り出すことにチャレンジしてきた。このため、ごちゃごちゃしている環境でないと新しいものは生み出せないと確信している。しかし、ロータリーに入会して、ルールがしっかりできているのを見て、多くの人が集まってこれだけのシステムを作り上げているのに、感動した。これから可能な限り出席するようにする。」。飯島会員は「①質問には、サポートは具体的に答えるようにすることが大事である。例えばニコニコ、SAAの赤い襷など、②例会に出席するだけで社会奉仕、世界奉仕になっていることを自覚してもらいたい。」。続いて鶴間会員、小林会員、長谷川会員、平田会員がそれぞれ有意義な発言をされた。

その後、活発な意見交換が行われた。

四分一会員・・出席は紹介者が積極的にフォローアップすべきである。



大日方会員・・①出てこない人たちの職場を訪問して、訪問記を書いたら。誕生日のお祝いを訪問し手渡し、週報に載せると心が通じることが多い。欠席していてもメンバーである限り力を尽くせ。②他のクラブは同好会が活発である。食べ歩き会、絵、スケッチ、勉強会など自発的にやったら。昔はホームパーティを良くやったものだ。もちろん女房の協力は必要だが。

岩上会員、椎名会員・・年会費を払っただけでいいという人は退会勧告をしたほうがいいと思う。

最後にまとめとして、小原会長が「出席が出席を呼び、欠席が欠席を呼ぶ。これからも積極的に呼びかけて、行くようにしましょう。」と (西澤民 記)

地区協議会2008報告

2008年4月15日 立川グランドホテルにおいて地区協議会が行なわれた。

9時30分から午前中一杯が全体会議

昼食後の午後は7つの分科会が行なわれ、15時20分から再び全体会議の分科会報告、総括が行なわれ17時閉会

この協議会は次年度への準備・方向性の確認を行なう協議会であり、我がクラブからは次年度会長・幹事と分科会のテーマに合わせ、高須広報委員長、岩上地区青少年交換委員会委員、吉岡副会長、橋本社会奉仕委員長、松永ロータリー財団委員長、飯島会計の8名が出席した。

この地区協議会には新藤ガバナーエレクトの強いリーダーシップの下、従来のレクチャー型の協議会から問題を協議し改善していこうという形式のものにするという協議会であった。

第一分科会は、テーマは『クラブ活性化を目指して』としてCLP採用の今後の課題や会員増強の具体的話し合いが行なわれた。

特にCLPは会員数が少ないクラブの運用に役だつために作られた、という誤解があり、多人数のクラブでは採用しない、という傾向もあったが、東京中央のように会員数234名のクラブも採用の方向を出している。CLPは変革を恐れ、現状に即した組織に変えていかなければ成長し、生き続けていけない、という認識で考えられたもので、推奨ロータリークラブ細則・組織にすればよいのではなく、各クラブは自分のクラブにあった組織・運営をして成長していくものであることが確認された。

広報分科会ではタブロイド誌を新聞に挟み込んでRCを紹介した例、報道との関係を強めるため新聞記者を例会に招いたケース等の話がされ、『ロータリーの友』は読むことが義務であり、PRにも役だつ等の話もあった。

分科会報告後の市川パストガバナー(次期地区研修リーダー)の総括は(前回の例会で橋本さんが少し触れていたが)いつもながら素晴らしい話であった。ポリオはRCが最初には本気でやったもので、日本ではあまり認識されていないが世界的にはポリオで高く評価されている。またポリオの裏側には疫病のこわさ対策がある、との話もあった。(清水 記)